

ウ 考察

<考察の視点>

視点1：多面的・多角的な見方が育成されたか

視点2：自らの課題に気づき、課題解決を図ろうとする意欲が高まったか

視点1：多面的・多角的な見方が育成されたか

(7) ワークシート等の記述

抽出した生徒のワークシートの記述より、話し合い活動を通して自分の考えと違う考えを知ること、ものの見方が広がったことが読み取れます（資料1）。生徒Aと生徒Bは、同じ班で話し合いを行いました。賛成意見と反対意見の両者が熱心に考えを伝え合う中で、自分と違う意見も取り入れて考えたことがうかがえます。

※抽出理由

- ・3時目の応用問題を使って既習事項を活用する場面で、班での話し合いの前後での変化の違いが異なる生徒。
- ・「この学習を終えてもっと知りたいと思ったこと」の記述がある生徒。

衣服のリサイクルの有用性は、生徒によって違いがみられますが、「4Rを実践して循環型社会をつくっていくことが大切」「物の一生を考え、最後まで使い切ることが大切」という考えは、全員に共通するものでした。

学習のめあて	学習内容等	Aさん とりあえず探さ探さない物： 消しゴム・赤ペン・ハンカチ	Bさん とりあえず探さ探さない物： 消しゴム・赤ペン・ハンカチ・靴下	Cさん とりあえず探さ探さない物： ハンカチ・赤ペン・靴下	Dさん とりあえず探さ探さない物： ハンカチ・赤ペン・消しゴム
1時目 私たちはどのような消費生活をしているのだろうか。	衣服の大量消費・大量廃棄により、どのような社会問題が起きているか。	・たくさん廃棄している。 ・環境によくない。	・たくさん捨てている。 ・環境が悪くなる。	・たくさん買う人が増えた。しかし、たくさん捨てる捨てる人も増えた。	・消費者の持っている服が多くなってたくさん捨てるようになった。 ・地球温暖化になった。
2時目 私たちはどのような消費社会をつくっていく必要があるだろうか。	なぜ、大量消費・大量廃棄をしてしまうのか。	・安く手に入るようになったから。	・安く買えるから。 ・成長期でサイズが合わなくなるから。	・「欲しい」「欲しくない」の2択で「買う」「捨てる」の選択になっていると思う。	・サイズがあわなくなった。 ・素材がだめになった。 ・安く手に入る。
	大量消費・大量廃棄にはどのような解決方法があるか。	・使える物はほかの人にゆずる。 ・本当に必要か考える。	・少し大きめの物を買う。 ・いらぬものは買わない。	・買う前に本当に必要か考える。 ・バザーやフリーマーケットに出す。 ・サイズが合わない物は合う人にあげる。 ・使わなくなった物は雑巾や使える物に作り変える。	・必ず試着してから買う。 ・必要がなくなったらバザーに出す。 ・必要な服だけ買う
	今日の学習内容で、家族にも教えてあげたいこと	・衣服のリサイクル率は10%しかない。 ・リサイクルは必要。 ・大量廃棄はよくない。	・再利用する。 ・リサイクルする。 ・別の物に作り変える。	・今の生活を続けていると石油は40年で無くなる。 ・服は買う前によく考える。 ・服のリサイクル率は低い。	・4Rが大切 ・今買っていないか考えることが大切 ・衣服のリサイクルは工場でのウエスにできるので、環境によい。
3時目 循環型社会はつくられるだろうか。	班での話し合い前の考え	Aさんに 反対 ・実際には洋服は10%しかリサイクルできていないから。	Aさんに 賛成 ・再利用されると思うから	Aさんに 反対 ・必ずリユースできるとは限らない。 ・新しく服を買ったとゴミが増えるから。 ・買う前から、「いらなくなったら」ということを考えているから。	Aさんに 賛成 ・フリーマーケットに出したら誰かがまた使ってくれるから。 ・安く買って再利用できるので、その分お得だから。
	班での話し合い後の考え	Aさんに 賛成と反対の間 ※班での話し合いの結果、賛成意見と反対意見が2つに分かれて結論が出なかった。	Aさんに 賛成と反対の間 ※班での話し合いの結果、賛成意見と反対意見が2つに分かれて結論が出なかった。	Aさんに 反対 ※班での話し合いでは、賛成の意見に対して何回も意見のやり取りをしていた。	Aさんに 賛成 ※班での話し合いでは、賛成意見が多かったが、反対意見にもしっかり耳を傾けていた。
	循環型社会づくりのために今日の学習で考えたことや気付いたこと	・海外に送るとは言っても、実際にはあまり使われていない。 ・生産→消費→回収→再生を繰り返している。 ・限りある資源を大切に最後まで使おうと思う。	・服が欲しくても、本当に必要か考えて買わないといけない。 ・いらなくなったら、捨てるのではなく、人にあげる。 ・服をリサイクルしても、たくさんのお金と時間が掛かる。	・服を買ったら、いずれ誰かが捨てることになる。でも、雑巾として利用することもできる。 ・環境破壊の1つにもなるので、服も使い切ることが大切。 ・1人1人が最後まで使い切ると循環型社会がつかれると思う。	・衣服は使えなくなるまで循環ができ、循環型社会を作れるようになる。 ・リサイクルやリユースも大切だけど最後まで使い切ることが大切。 ・これからは捨てるでなく循環できるようにしていきたい。
4時目 循環型社会をつくるために中学生の私たちにできることは何だろうか。	中学生の私たちにも消費者としての責任があるだろうか。	責任がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">AさんとBさんは同じ班。班での話し合いで賛成意見と反対意見の両者が熱心に考えを伝え合ったことで、自分と違う見方に気付くことができたようだ。</div>	責任がある。	責任がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Cさんは、環境についての意識が高く、消費者市民の意識が更に高まったと考える。衣服の購入に留まらず学校生活についても目を向け、実践への意欲が高いことが伺える。</div>	責任がある。
	どのような責任か。	・買ってもらったのを大切にする責任。 ・本当に必要か買う前に考える責任。	・自分が買ってもらった服だから。	・4Rをする。 ・循環型社会について学び、次世代に伝えたい。 ・中学生の私たちも社会の1人でごみを捨てている。ゴミを減らすのは当然だと思う。	・欲しいと思って買った服を、「ファストファッション」ということですぐにいらなくなっても捨てずに、いる人にあげる責任。
題材を振り返っての感想(学習直後)	衣服を大切にすることの大事さ、環境のことを考えること、循環型社会について学んだ。4Rを実践できるように頑張ろうと思う。家庭科のこの勉強はとても好きだった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Aさんは、学習後、居住している市のゴミの分別に関心をもったことから、実践しようという意欲が高まったことがうかがえる。</div>	4時間の学習で、物の大切さや循環型社会の大切さがわかった。これからは物の命を大切に、自分の物でなくても大切に扱っていきたいと思う。環境のためにもいろいろな物を最後まで使いたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bさんは、自分の物でなくても大切にしていきたいと、自分なりに循環型社会づくりについて概念化がなされたと思う。</div>	この4時間の授業で、物はいずれゴミになるんだと改めて感じることができた。しかし、そのゴミとなる物も最後まで使い切れば、物の寿命はもっと長いはずだ。私たちの教室のゴミ箱は分別するために2つあるが、きちんと分別されていない。私は環境委員として分別を続けている。みんなにもがんばってほしい。	循環型社会をつくるために、まず循環型社会とは何か伝えていきたい。次に4Rに積極的に取り組みたい。そして物を買うときは、循環させることを前提に考え、大切にしたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Dさんは、経済面の本音が出せている。フリーマーケットに出したら誰かが使ってくれるからと安易に考えているようだが、物を買う時は循環させることを前提に考え、大切にしたいと自分の生活の尺度で考えたと思われる。</div>	
この学習を終えて、もっと知りたいと思ったこと	・〇〇市のごみの出し方、分別の仕方。	・服などをリサイクルするのにどのくらいの費用と時間が掛かるか。	・世界で環境汚染を阻止している人たちの活動。	・Tシャツの自動販売機についてもっと知りたい。	

資料1 抽出生徒のワークシート

(イ) 授業で出た意見

授業で生徒から出た意見より、多面的・多角的な見方が次のように読み取れます。ねらっていた多面的・多角的な見方は、おおむね生徒から出されました(資料3)。1時目は、生産者の立場で経済的な側面について考えることは難しいと予想していましたが、「安くすると働く人の給料が安くなる」などの意見が出ました。2時目は、生産者の立場での社会的な側面についての意見は、小学校での社会科の学習から何かしらの意見が出るのではと予想していましたが、出ませんでした。

時目	多面的な見方			
	1 経済的な側面	2 社会的な側面	3 文化的な側面	4 利己的な側面
1 時目	(今のことだけ考える) ・できるだけ安い方がよい		・生活を豊かにする物がほしい	・自分のお金で買っているからどうしようかと自由だ ・使い捨てが便利 ・みんなやっている
多角的な見方	B 全体の立場 (世界・未来を考える) ・安い物には理由があるのかもしれない	・資源枯渇の問題 ・環境汚染の問題 ・低賃金労働の問題 ・循環型社会をつくる責任(4R) ・リサイクル等の問題点	・物の命を大切にし、最後まで使い切る ・別の物に作り変えて使う	
	C 消費者の立場 (消費者の責任) ・できるだけ安い方がよい	・循環型社会をつくる責任(4R)	・物の命を大切にし、最後まで使い切る ・別の物に作り変えて使う	
	D 生産者の立場 (生産者の責任) ・安く売るには理由がある ・たくさん買ってほしい ・安い物ばかり求めないで欲しい	・循環型社会をつくる責任(4R)	・授業前に予想していた見方 ・授業前になかった視点	
2 時目	(今のことだけ考える) ・できるだけ安い方がよい		・生活を豊かにする物がほしい	・自分のお金で買っているからどうしようかと自由だ ・使い捨てが便利 ・みんなやっている
多角的な見方	B 全体の立場 (世界・未来を考える) ・安い物には理由があるのかもしれない	・資源枯渇の問題 ・環境汚染の問題 ・低賃金労働の問題 ・循環型社会をつくる責任(4R) ・リサイクル等の問題点	・物の命を大切にし、最後まで使い切る ・別の物に作り変えて使う	
	C 消費者の立場 (消費者の責任) ・できるだけ安い方がよい	・循環型社会をつくる責任(4R)	・物の命を大切にし、最後まで使い切る ・別の物に作り変えて使う	
	D 生産者の立場 (生産者の責任) ・安く売るには理由がある ・たくさん買ってほしい ・安い物ばかり求めないで欲しい	・循環型社会をつくる責任(4R) ・良い品物をつくりたい ・喜んでほしい	・授業前になかった視点 ・授業前に予想していた見方	
3 時目	(今のことだけ考える) ・できるだけ安い方がよい		・生活を豊かにする物がほしい	・自分のお金で買っているからどうしようかと自由だ ・使い捨てが便利 ・みんなやっている
多角的な見方	B 全体の立場 (世界・未来を考える) ・安い物には理由があるのかもしれない	・資源枯渇の問題 ・環境汚染の問題 ・低賃金労働の問題 ・循環型社会をつくる責任(4R) ・リサイクル等の問題点	・物の命を大切にし、最後まで使い切る ・別の物に作り変えて使う	
	C 消費者の立場 (消費者の責任) ・できるだけ安い方がよい	・循環型社会をつくる責任(4R)	・物の命を大切にし、最後まで使い切る ・別の物に作り変えて使う	
	D 生産者の立場 (生産者の責任) ・安く売るには理由がある ・たくさん買ってほしい ・安い物ばかり求めないで欲しい	・循環型社会をつくる責任(4R) ・良い品物をつくりたい ・喜んでほしい	・授業前になかった視点 ・授業前に予想していた見方	
4 時目	(今のことだけ考える) ・できるだけ安い方がよい		・生活を豊かにする物がほしい	・自分のお金で買っているからどうしようかと自由だ ・使い捨てが便利 ・みんなやっている
多角的な見方	B 全体の立場 (世界・未来を考える) ・安い物には理由があるのかもしれない	・資源枯渇の問題 ・環境汚染の問題 ・低賃金労働の問題 ・循環型社会をつくる責任(4R) ・リサイクル等の問題点	・物の命を大切にし、最後まで使い切る ・別の物に作り変えて使う	
	C 消費者の立場 (消費者の責任) ・できるだけ安い方がよい	・循環型社会をつくる責任(4R)	・物の命を大切にし、最後まで使い切る ・別の物に作り変えて使う	
	D 生産者の立場 (生産者の責任) ・安く売るには理由がある ・たくさん買ってほしい ・安い物ばかり求めないで欲しい	・循環型社会をつくる責任(4R) ・良い品物をつくりたい ・喜んでほしい	・授業前になかった視点 ・授業前に予想していた見方	・個人の考えとして2名が該当。他の生徒の考えを聞いて、それにも納得していた。

資料3 生徒から出た多面的・多角的な見方

(ウ) 家庭生活アンケート結果

家庭調査アンケートを学習の前後に、次のような条件で行いました。

調査条件		
調査時期	事前調査 平成28年6月第3週目	事後調査 平成28年10月第3週目
調査の対象となる期間	小学校6年生の時から1年間について	2016年9月以降について(本題材学習期間と学習の2週間後までの6週間について)

付箋やカラーシールを使った話し合い活動は、多面的・多角的な見方を育てることに効果的だったといえます（図1）。

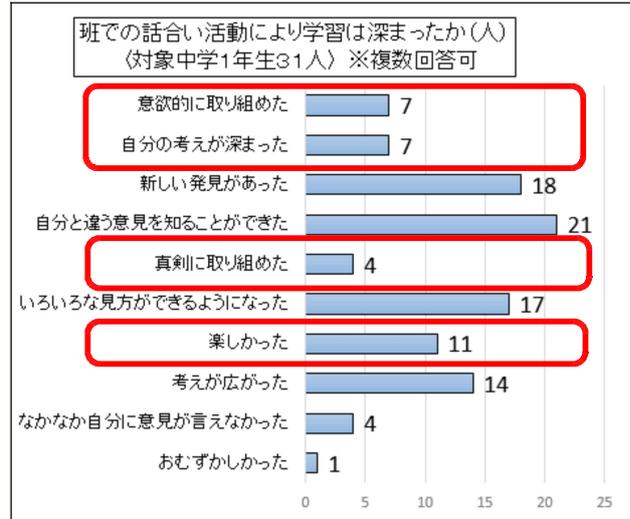


図1 班での話し合い活動についての感想

視点2：自らの課題に気づき、課題解決を図ろうとする意欲が高まったか

(7) 抽出した生徒のワークシートの記述(資料1)

資料1の生徒Aの「この学習を終えてもっと知りたいこと」の記述は「具体的な実践方法」についてで、実践しようという意欲が高まったことがわかります。生徒Cは、もともと環境問題についての意識が高く、今回の学習によって更に意欲が高まったことがうかがえます。生徒Dは3時目の応用問題について考える場面で、経済的なことについての本音の部分が出せており、自分の生活を想起しながら考えたことが読み取れます。

(1) 家庭生活アンケート結果

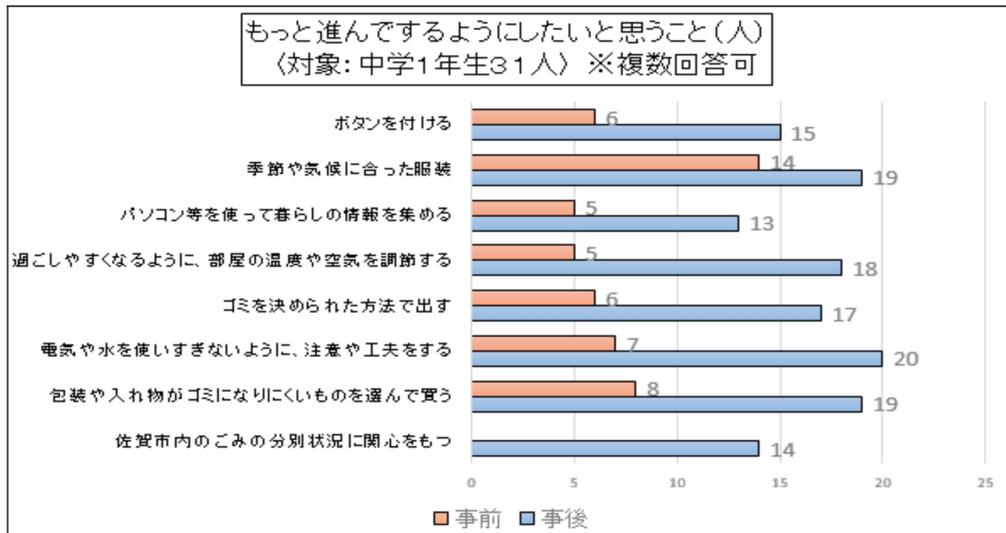


図2 学習後の家庭生活アンケート 結果1

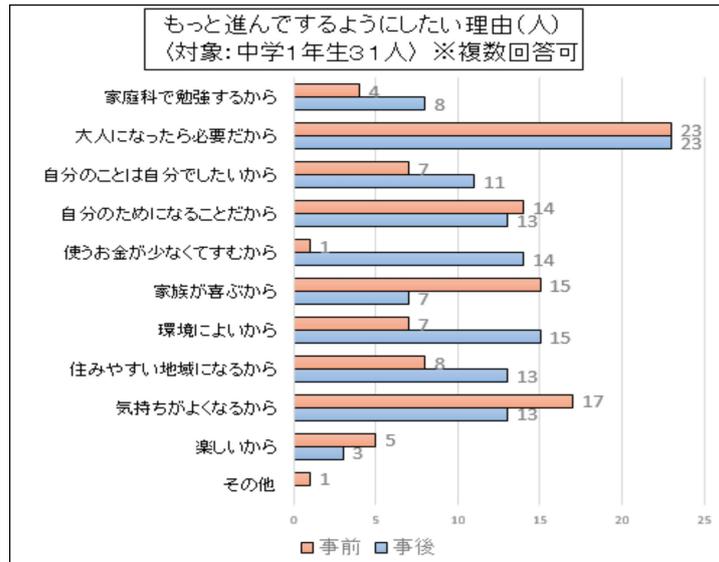


図3 学習後の家庭生活アンケート 結果2

家庭の仕事について、「もっと進んでほしいと思うこと」は、どの項目も数値が上がっています(図2)。「佐賀市のごみの分別状況に関心をもつ」は、事後のみ行いました。

「もっと進んでほしい理由」は、「使うお金が少なくてすむ」が1人から14人と最も増えています。これは、環境に配慮し、循環型社会を意識した生活が、経済的な生活にもつながっていることが理解できたからと考えます。「環境によいから」と答えた生徒は、7人から15人に増えました(図3)。

「実際、家庭でどの程度家庭の仕事を行っているか」については、事前アンケートが、1年間のことについて尋ねたのに対し、事後アンケートは6週間のことについて尋ねたので、実践できたかということについて比較して検証するのは厳しい状況となりました(図4～図11)。

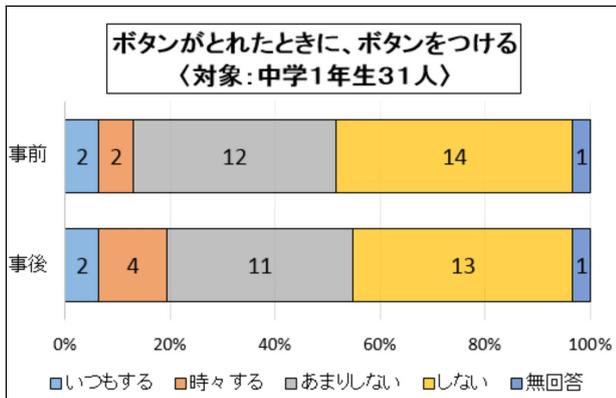


図4 学習後の家庭生活アンケート 結果3

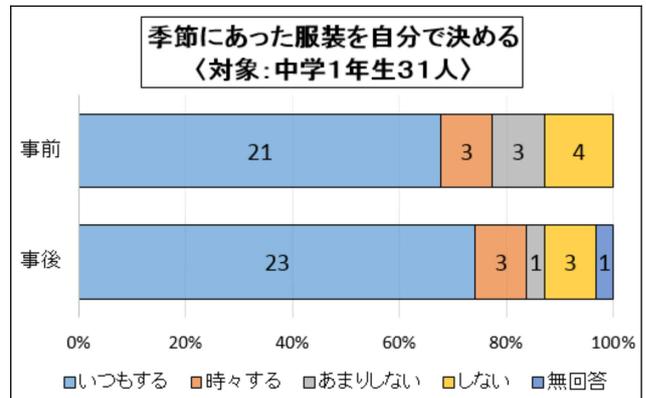


図5 学習後の家庭生活アンケート 結果4

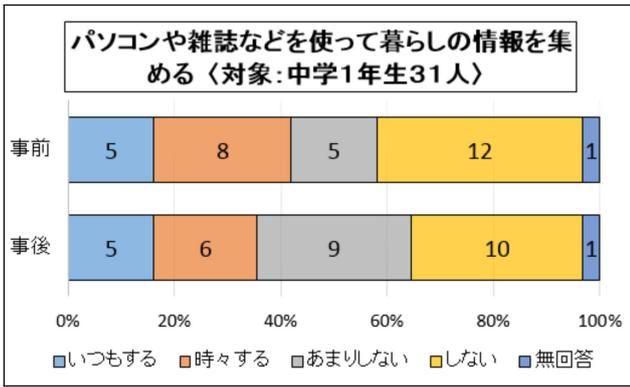


図6 学習後の家庭生活アンケート 結果

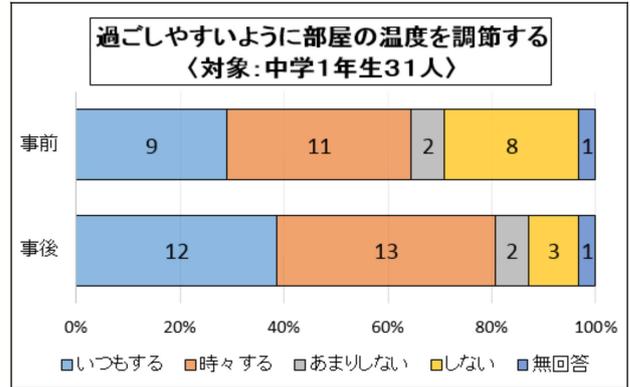


図7 学習後の家庭生活アンケート 結果6

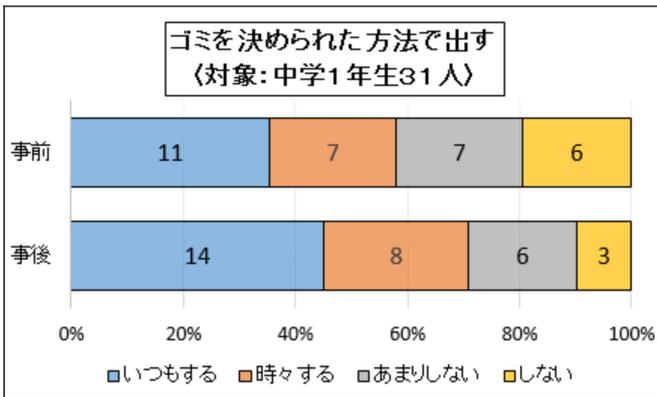


図8 学習後の家庭生活アンケート 結果7

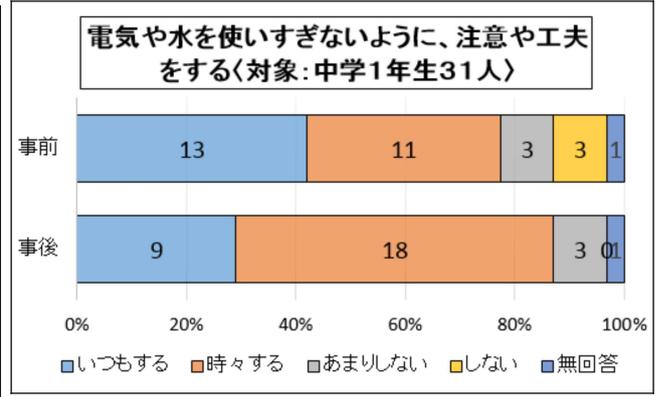


図9 学習後の家庭生活アンケート 結果8

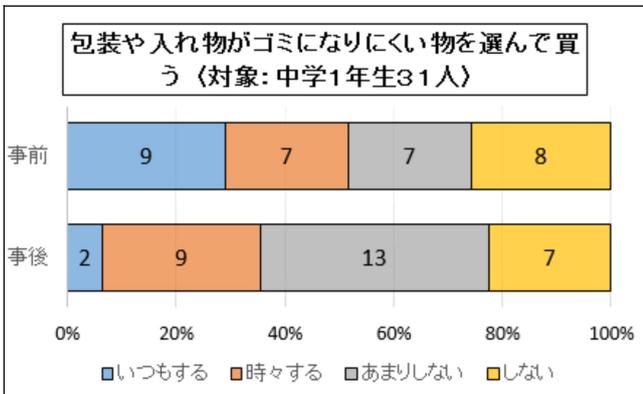


図10 学習後の家庭生活アンケート 結果9

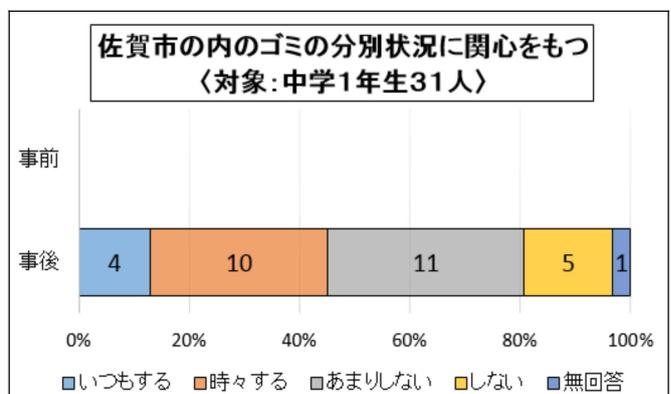


図11 学習後の家庭生活アンケート 結果10

(ウ) 学習後の実践記録表

学習後、実践の意識付けをねらって実践記録表の記入に4週間取り組むようにしました(資料4)。4Rを意識して生活できたことがうかがえます。

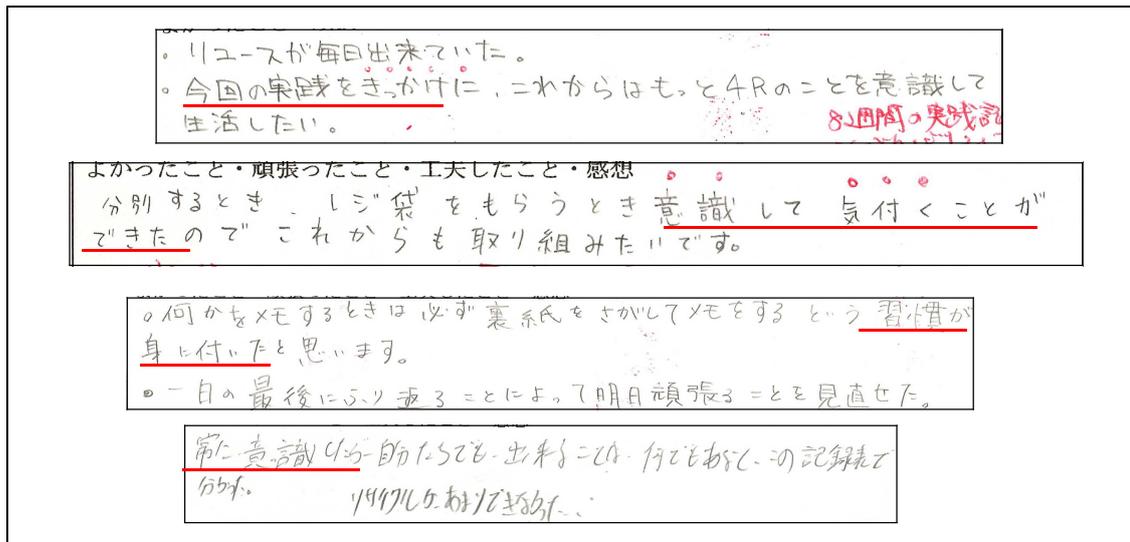
技術・家庭科 実践記録表「身近な消費生活と環境」 組 号 氏名			
地球人の1人として循環型社会をつくるために、自分や家族のこれまでの消費生活を振り返り、循環型社会づくりのためにできることを実践しましょう。(対象となる物は、何でも構いません。)			
○循環型社会づくり(4R)実践計画記録表			
Reduce(リデュース) 【ごみの発生を減らす】 Refuse(リフューズ) 【むだな物を購入しない】	Reuse(リユース) 【使える物はくり返し使う】	Recycle(リサイクル) 【資源は回収して再利用】	
目的・課題 むだづかいをしない	使えるものがあってもすぐ捨ててしまわないでくり返し使う。	きちんと分別する	
実践のテーマ むだづかいをしない			
実践に留意して行いたいこと	まだ使われないと思ったものはできるだけ「買わない」ようにする		
達成目安 2: 2回以上できた 1: 1回できた 0: する必要なかった	1: 1回できた 2: 2回以上できた	0: する必要なかった 1: 1回できた 2: 2回以上できた	100
記入例 2: ① 0 - 1 - 2 1: フォンや靴などの不要品は、レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: フォンや靴などの不要品は、レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: フォンや靴などの不要品は、レジ袋をもらわなかった。	2
929 木 2: ① 0 - 1 - 2 1: 買ったものをかまいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別をした。	3
930 金 2: ① 0 - 1 - 2 1: どこにも行かなくて済んだ。	2: ① 0 - 1 - 2 1: ノートがもったいないことを思い出した。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別していられた。	2
101 土 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 袋を捨てておいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 菓子の箱を分別した。	3
102 日 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: まだつかえるものを捨ててしまわずに、分別した。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	1
103 月 2: ① 0 - 1 - 2 1: どこにも行かなくて済んだ。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別をした。	2
104 火 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 袋を捨てておいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: アイスの箱を分別した。	3
105 水 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別していられた。	2
106 木 2: ① 0 - 1 - 2 1: 買ったものをかまいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: くり返しつかう。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	2
107 金 2: ① 0 - 1 - 2 1: どこにも行かなくて済んだ。	2: ① 0 - 1 - 2 1: まだつかえるものを捨ててしまわずに、分別した。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 菓子の箱を分別した。	0
108 土 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	1
109 日 2: ① 0 - 1 - 2 1: 買ったものをかまいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 袋を捨てておいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	1
110 月 2: ① 0 - 1 - 2 1: 買ったものをかまいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: くり返しつかう。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	2
111 火 2: ① 0 - 1 - 2 1: どこにも行かなくて済んだ。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	2
112 水 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 袋を捨てておいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	3
113 木 2: ① 0 - 1 - 2 1: どこにも行かなくて済んだ。	2: ① 0 - 1 - 2 1: まだつかえるものを捨ててしまわずに、分別した。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 菓子の箱を分別した。	0
114 金 2: ① 0 - 1 - 2 1: 買ったものをかまいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	3
115 土 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	2
116 日 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: まだつかえるものを捨ててしまわずに、分別した。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	1
1017 月 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: くり返しつかう。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	1
1018 火 2: ① 0 - 1 - 2 1: どこにも行かなくて済んだ。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	2
1019 水 2: ① 0 - 1 - 2 1: 買ったものをかまいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 菓子の箱を分別した。	3
1020 木 2: ① 0 - 1 - 2 1: 洋服を買った。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 袋を捨てておいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	3
1021 金 2: ① 0 - 1 - 2 1: どこにも行かなくて済んだ。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	2
1022 土 2: ① 0 - 1 - 2 1: おかしを買った。	2: ① 0 - 1 - 2 1: くり返しつかう。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	3
1023 日 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: まだつかえるものを捨ててしまわずに、分別した。	2: ① 0 - 1 - 2 1: アイスの箱を分別した。	0
1024 月 2: ① 0 - 1 - 2 1: 買ったものをかまいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 袋を捨てておいた。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	3
1025 火 2: ① 0 - 1 - 2 1: どこにも行かなくて済んだ。	2: ① 0 - 1 - 2 1: まだつかえるものを捨ててしまわずに、分別した。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 菓子の箱を分別した。	0
1026 水 2: ① 0 - 1 - 2 1: レジ袋をもらわなかった。	2: ① 0 - 1 - 2 1: わりほしをくり返し使う。	2: ① 0 - 1 - 2 1: 分別した。	3
合計	11	13	25
実践の振り返り	買ったこと・帰ったこと・工夫したこと・感想 むだづかいをしないように買ったものをかまいて、レジ袋をもらわないように、エコバッグを持って行きました。		
反省点・改善点	まだつかえるものなどはすぐに捨てるに取ってかかると思いました。		

資料4 学習後1回目の実践記録表1

しかし、このように実践記録がきちんとできた生徒は少なく、記録用紙を紛失した生徒も少なくありませんでした。「身近な消費生活と環境」の学習終了後すぐに技術分野に代わったこともあり、こうなった原因は実践記録表を持ち帰らせた点と、4週間の間、生徒任せになった点だと考えました。そこで、次のように方法を変えてみました。

	1回目の実践記録(4週間)	2回目の実践記録(4週間)
実践記録表の保管	自宅に持ち帰らせた。	朝の会で担任教師に提出している連絡帳(学活ノート)に、常に挟んで保管するようにした。これにより、実践記録表の提出と返却の手間を省こうと考えた。
実践記録表に記録する時間	各自、自宅で記録させた。	毎日、帰りの会の前に記録するようにした。
教師の関わり	4週間の間、授業実践者が4目を通さなかった。	週1~2回、授業実践者が実践記録表に目を通し、コメントを加えた。
その他の改善		<ul style="list-style-type: none"> 記録例を増やして、記録の仕方が分かりやすいようにした。 実践記録表を1週間で区切り、1週間を振り返りやすいようにした。 実践を毎日記録する理由を書き入れた。 4時間の板書等も加え、授業で考えたことを思い出しやすいようにした。 連絡帳に挟みやすい大きさにした。

結果は、1回目の実践記録より良くなったものの、やはり2回目も、生徒によって取り組みの差が大きくなってしまいました。実践への意識の高さが二極化していると感じます。日常の生活で、学習したことを基に継続して実践させることの難しさを感じました。更なる改善案として、家庭科の学習期間に、毎週授業が始まる前の時間に実践を記録させて家庭科教師がそれに対するコメントを与えるなどの、実践記録を習慣化させる方策が必要だと考えます。このように日常的な実践への手立ては今後の大きな課題として残りました。一方で意欲的に取り組んだ生徒からは、実践記録表が実践の習慣化のきっかけになったことがうかがえました(資料5、資料6)。



資料5 学習後の2回目の実践後の振り返り

1年家庭科「私たちの消費生活と環境」○自分たちの力で未来をつく

1年3組 学習の足あと...大変よく頑張りました。

1年3組 号
氏名

表紙

3時目 **4時間の学習の記録写真**

4時目「私たちが何をするために何か」

さあ、次は実践!!

表紙裏面

技術・家庭科 実践記録表「身近な消費生活と環境④」 3組 号 氏名

地球人の1人として循環型社会をつくるために、自分や家族のこれまでの消費生活を振り返り、循環型社会づくりのためにできることを実践しましょう。(対象となる物は、何でも構いません。)

○循環型社会づくり(4R)実践計画記録表

Reduce (リデュース) 【ごみの発生を減らす】 Refuse (リフューズ) 【むだな物を買わない】	Reuse (リユース) 【使える物はくり返し使う】	Recycle (リサイクル) 【資源は回収して再利用】
自分や家族のこれまでの消費生活を振り返る。 ・マイバッグを使う。 ・レジ袋を断った。 ・詰め替えを買った。 ・〇〇を買うのを我慢した。 ・買う前によく考えた。 ・ティッシュペーパーを節約した。	・パンを最後まで使い切る。 ・失くした消しゴムを見つける。 ○物を大切に使うこともこれに入ります。 ・床に落ちていた物を拾った。 ・かばんを大切に使った。 ・ペンを最後まで使い切った。 ・失くした消しゴムを見つけた。	・紙を分別した。 ・古紙の製品を買った。 ・ペットボトルを分別した。 ・エコマークのある物を買った。

未来の地球を守るため、どんなことでも進んで取り組み。
・口ずかせる
・ゴミ箱の中を確認する

もう、便利だよ。笑

1 P

実践の記入例

Reduce (リデュース) 【ごみの発生を減らす】 Refuse (リフューズ) 【むだな物を買わない】	Reuse (リユース) 【使える物はくり返し使う】	Recycle (リサイクル) 【資源は回収して再利用】
・マイバッグを使った。 ・レジ袋を断った。 ・詰め替えを買った。 ・〇〇を買うのを我慢した。 ・買う前によく考えた。 ・ティッシュペーパーを節約した。	・(朝)箸ではなく)箸を使った。 ・〇〇を修理して使った。 ・ちょっと壊れたけど、使うことにした。 ○物を大切に使うこともこれに入ります。 ・床に落ちていた物を拾った。 ・かばんを大切に使った。 ・ペンを最後まで使い切った。 ・失くした消しゴムを見つけた。	・紙を分別した。 ・古紙の製品を買った。 ・ペットボトルを分別した。 ・エコマークのある物を買った。

記入例

2 P

○実践の記録をつけよう

【記録をつけるねらい】 ①記録をとることで実践への意識付けができる。 ②実践を見える化できる(頑張りをためることができる)。

Reduce (リデュース) 【ごみの発生を減らす】 Refuse (リフューズ) 【むだな物を買わない】	Reuse (リユース) 【使える物はくり返し使う】	Recycle (リサイクル) 【資源は回収して再利用】
2: 2回以上できた -1: 遊のこを1回した	1: 1回できた -2: 遊のこを2回以上した	0: する必要なかった

記入例

Reduce (リデュース) 【ごみの発生を減らす】 Refuse (リフューズ) 【むだな物を買わない】	Reuse (リユース) 【使える物はくり返し使う】	Recycle (リサイクル) 【資源は回収して再利用】
② 1 0 0 -1 -2 ・レジ袋を断った。 ・レジ袋をもらなかった。	2 1 0 -1 -2 ・かばんを大切に使った。 ・失くした消しゴムを見つけた。	2 1 0 -1 -2 ・古紙の製品を買った。 ・葉子箱を分別した。

実践記録

3 P

授業実践者が1週間に1~2回目を通し、コメントを記入

Reduce (リデュース) 【ごみの発生を減らす】 Refuse (リフューズ) 【むだな物を買わない】	Reuse (リユース) 【使える物はくり返し使う】	Recycle (リサイクル) 【資源は回収して再利用】
11/14 2 1 0 -1 -2 ・葉子箱を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・紙を分別した。
11/15 2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・紙を分別した。
11/19 2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・紙を分別した。
11/20 2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・紙を分別した。

1 ページに1週間の記録

4~6 P

4週間の実践後の振り返り

Reduce (リデュース) 【ごみの発生を減らす】 Refuse (リフューズ) 【むだな物を買わない】	Reuse (リユース) 【使える物はくり返し使う】	Recycle (リサイクル) 【資源は回収して再利用】
12/5 2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・紙を分別した。
12/6 2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・レジ袋を分別した。	2 1 0 -1 -2 ・紙を分別した。

実践後の振り返り
よかったこと・頑張ったこと・工夫したこと・感想
の何かをメモするときは必ず裏紙系をさかしてメモする習慣が身に付いたと思います。
・一日の最後にふりかえりすることによって、明日頑張ることを見直せた。
反省点・改善点
毎週日記の記入、おかげで4R意識が深まりました。
この実践記録の記入、おかげで4R意識が深まりました。

7 P

毎日記入し提出する「学活ノート」に納まる大きさ。学級担任に協力を求め、学活ノートを書く時間の前に記入。

学活ノート

実践終了後の振り返りを掲示物で紹介

実践後の振り返りに書かれていたキーワードを使って、実践のまとめを作成

意識が
気づか
習慣が
家族

資料6 学習後2回目の実践記録表

今回の実践を通して、研究のねらいがある程度以上達成されたことは、抽出生徒以外の生徒の題材を振り返っての感想にも表れていました（資料6）。

<p>知らない間に、環境はかいをしている と思いました。ほくは、世界のみんなを動かす力 は、ないので、自分が今できることから始めよう と思った。この4時間の授業を受けて、 物に対する見方が変わった。</p>	<p>循環社会はなかなかできるものではないと思っただけとそ れを次の世代につたえていけば後継でできるかなと思っただけ じゃなかったら現代でもやっていた。</p>
<p>普通に生活してるだけだけど服は16時間 はたらいで時給10円と血をだしながらはたら いた人のがんばりがあるからされていることを 思いながら長くつがっていきたくて、これが らのことをよくかんがえていきたくて。</p>	

資料7 4時間の授業を振り返っての感想

実践を振り返って

今回の実践は、これまでの教科指導の在り方について改めて見直す機会になりました。これまで多かった講義型の授業ではなく、題材を通して協働学習を取り入れることで、明らかに生徒の学びは主体的になり深まるといえます。これからの家庭科教育を資質・能力の育成に視点を置いて考えた場合、本実践のような協働学習は有効だということが実証できたと考えます。また、家庭科の授業で楽しいと感じているのは実習の時間だという生徒が多いと思っていましたが、話し合い活動も十分楽しんで取り組めることがわかりました。「分かりやすい」ことについても同様で、教師の説明等の分かりやすさだけでなく、「話し合い活動」で級友から意見を聞くことでふに落ちることがあることが考えられます（資料8）。

<p>このように授業をして、家庭科でこんなに楽しいものなつか しいと思えました。 これから技術にならば、技術もがんばりたいと思います。</p>	<p>たくさんの人の意見がどんどん出ていて とても意味のある活動を行えた。</p>
<p>授業がとても分かりやすく楽しかったです。 家族にも授業で学んだことを教えてあげられて、 すごく良かったです。</p>	<p>この授業を学んだことがとてもよかったです。</p>
<p>小せんを使った授業は子どもとまよめることができて いてプリントを持って話し合うよりも全然分かりやすかった。 班で意見を交換し合うことで、納得のいくこともあった。 で良かった。</p>	<p>自分で調べたことで、自分自身で思いついたことや、気づき となつて、どういった意見をたしかなる事ができた。</p>
<p>家庭科のこういうところ（2人5人で話し合う） について、この授業をして、好きになりました。</p>	<p>話し合いからそれぞれ違った意見を出し合うことで、 勉強に対する興味、関心を持てた。</p>
<p>考え方が7人7人ちがうので、そこをいかに班活動か けて、</p>	<p>知らなかったことを知って、知っていたことをさらに知って、 と自分の中でとても役に立つことを感じました。</p>

資料8 題材全体についての感想